

ミス旅博、やっぱりおかしい!! 県を訪れたばってん・うーまん達...

◆いいかげんな秘書課の対応◆

6月13日、晴。「お客に対する扱いはの？」案内された部屋で待たされること35分。県知事宛抗議文は前日に秘書課を通して県知事のもとへ届いているはず。今日の行動も、通告済で、知事に面会できないならメッセージをくださいとも申し添えてあったのに。ようやく現れたのがなぜか、旅博協会の人たち(早田氏、松藤氏)。今日の抗議は人事の最高責任者である県知事に向けられ、もので、5月17日、私達が事務局を訪れた際にとびだした、あ

まりに露骨な女性差別的発言が許せない、という主旨だ。県知事は取り次ぎず、勝手に協会の人をよいて、自分はささと消えるなんて。秘書課は何やってんの? 私達がや言っていると、さき消えはすの秘書課(近藤氏)がどってきた。ヤレヤレ。改めて抗議文をわたし。今日の行動の主旨を説明した。秘書課は「抗議文を知事に見せる時間」がなかった。知事がコメントを出さず出さないか、返事できない。と答え、私達は、抗議文に対して知事がどのように考えるか、ぜひ知りたい。結局、私達は秘書課が今度こそきちんと取次をし

てくれるのを信じ、後日、約束通り連絡をくれるまで待つことになった。「ミス旅博」について、市婦人対策室から疑問の声があがっているが(1P参照)、県の人対策室はどうか、調べて教えてほしいと、私達は加えて申し入れた。



◆歯切れの悪い協会の弁◆

せ、かく協会の方も同席してはいたから、ということで、協会の人たちと「ミス旅博」についての話しに移った。協会の

抗議します!

長崎県知事 及び
長崎旅博覧会 事務局長 殿

1989年6月 日

「ばってん・うーまんの会」

去る5月17日「ミス旅博」に関する公開質問状を携えて、旅博事務局を訪れた私達に対し、事務局次長原田氏の示された「ミス旅博」に関する見解は以下に述べるような重大な問題点を含んでいました。

- ①「ミス旅博」には、あくまで「女性の美」が必要と明言した点。
- ②ミス・コンテストの類を、公的機関が行ったとしても問題性を感じないとする点。
- ③「接待は女の仕事だ、女はあたりがやわらかいから」、さらには「美人がお茶を入れる方がよい」とまで発言した点。
- ④ミセスではつとまらないか、という質問に対し、「ミスの方がアピール度がある」と公言してはばからない点。

私達は女性問題を考える立場から、このことを受け流すことはできません。

①～④についての具体的な反論は次のとおりです。

- ①「ミス旅博」の仕事内容から見れば、性別、美醜、既婚未婚の別は関係がないはずだ。「ミス旅博」の募集要項に示されるような「未婚の女性の美」が求められる思惑背景には、男性のエゴイズムがこめられている。
- ②「ミス・コンテスト」とは女性の外見上の美しさを、人格、能力から切り離して品評することである。

人の「先づのついでに人な対応は」水に流して、県民あげての旅博、みなさんのエゴイズムをぜひ旅博へ」の弁には、ただただ、あきれかえるのみ。質問に対する解答を求めると、「他意はない」「常道だ」のたてまえ論に終始し、とれ、納得できるものではなかった。こちらがしつこく追及しても、あげ足をとられ、あきまへ慎重な発言に徹し、具体的、本質的質問は巧みにかわしている。ミス旅博の根底には、女性蔑視が横たっており、それを暴かれると、彼らは早合が危いのだ。[未婚、美、若さ、子] = 「ミス旅博」(これは女性差別ではなくて何?)と考えるのは、「あなたたちのひがみ根性」のせいで、あくまで、合理的、

公正、平等を厳守し、民間の企業体をも指導すべき立場にある公的機関が、ミス・コンテストという選考方法によって人材を登用することの問題性を自覚すべきだ

③接待の仕事は、女性固有の仕事ではないはずです。

男女役割分担を問う直そうとしている現在の日本において、こういう固定概念を行政の立場に持ち込むことは許されない。あくまで男女平等の原則にのっとるべきです。

④全くナンセンスな個人的見解であり、このような何ら根拠のないことを公的機関の意見として発言すること自体、女性差別だと受けとめざるをえません。

「ミス旅博」は女性の側から見れば、女性蔑視であり、男性の女性に対する一方的な偏見に彩られているといえます。

本来ならば、地方自治体が主催する博覧会は老若男女、全県民が全人格を通して参加すべきものと考えます。

何も未婚の若くて美しい女性だけが男性によって「華をそえる」だとか「宣伝効果をあげる」ために利用されるのは、おかしいと思います。

地方博の宣伝という名目での「ミス～」の選定は、各都市でも常識とされてきたとの局長発言がありましたが女性の側の意見にも耳を傾け、その問題性にも目を開かれるよう、強く要望いたします。

なお、公開質問状に対する回答は現在差入しておりません。5月19日回答要請の電話を長崎旅博覧会協会にした所、企画、広報担当、橋本氏の「我々は自信を持ってミス旅博を選んだ質問には答える必要がない。答えるだけの質問ではない。あなたたちからとやかく言われる筋合いではない」というバカ声をもった返答が返ってきた事についても合わせてここに抗議いたします。

「ばってん・うーまんの会」一同

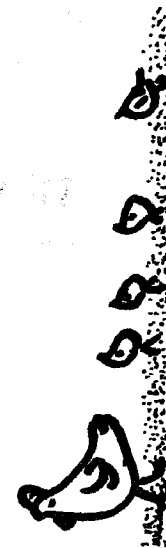
一般的だと、言わんばかり。審査員名の公表を求めると、既に公表済みと言いつつ、「自分の口からは言えない」と、頑なに拒否する(松藤氏)とは。理解に苦しむところだ。私たちは、文書での解答を願ったところ、「相談してみます」とのことだった。その後、彼らは逃げるように室を出ていった。一同、しばしあひだにとられる。「私たちが客なのに、客より先に退室するなんて!」まづ、お役人には、二度に三度に、腹の立つ。



追記

ちなみに取材に来た記者に対して、秘書課の近藤氏は、今日の不手際について、前もって、時間を知らされていなかった」との事実を反する釈明をしたそうだった。

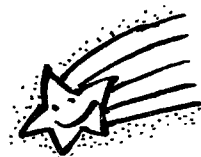
またまた続く
ミス旅博「朝日」4P



ミス旅博を問う！ （協会の人との意見交換の中で明らかにされたこと）

ミス旅博を退出されましたが

6/13 早稲



① ミス旅博はどんな行事をするのですか。具体的にきちんと知らせてください。

その行事は何のためにおかれるのですか。

県内外キャラバン活動。VIP対応他。長崎を「売りこむ」。案内係。これから「コンペション」も募集する予定とか。

② ミス旅博の年齢制限は何歳から何歳までですか。

何を基準として制限するのですか。何故独身という制限があるのですか。

18~25歳 参加しやすい年齢。各都市をまねた。他意はない。

③ 選ばれた基準は何ですか。活動しやすいのは、ミス。ミス、だって社会の中で、77~に

なし。審査員個人におまかせ。審査問題アリ 働かしているのに。

④ その基準は行事の内容とどういう関係があるのですか。

⑤ その行事は独身で、かつ美しい女性である事が必要な行事ですか。

男性は協会職員で門におか女性不足しているのを募集して。(ちなみに協会職員の男女比は、58:42)

⑥ 彼女たちの報酬はいくらですか。自費弁償的(交通費+セトリ料程度)←低賃金でコキ使うな!

⑦ 会社に雇用されている者は、会社から給料をもらっている。

⑧ 一日の拘束時間はだいたい何時間ですか。日によってちがうか1日2hぐらい。泊まりのこともある。

⑨ 審査員の方々のお名前をおしえてください。

既に新聞等で公表されているが、ここでは記載されない。

「ミス旅博」が企画される原因、
ここにありと思いませんか?
松原氏、早田氏はこの数
字に対して「おかしい」とは
思わないようぞ。

(報告、大城直子)



「行動する女たちの会」(新潟県)の
おかげで、金丸発言に対する抗議文で
す。笑いとばすような迫力があって
オモシロイと思いました。

宇野首相のスクandal、あんなに
政治を仕えるわけにはいかない。



彼等たちが作製した
スラング。

金丸発言「土井たか子にはおだんながねえ」 に抗議します!

1月26日付朝日新聞長崎版および
週刊文春4月6日号、週刊朝日4月
14日号に記載された、女性蔑視に満
ち満ちた、品位に欠ける発言に強く
抗議します。

いかに政治倫理が地に墜ち、「政治家」
という職業が汚濁にまみれた時代
であっても、かくまで品性下劣、
発言者の人格を疑わせる言葉はめっ
たに聞けるものではありません。ま
るで遊女を値踏みするかのような卑
しい視線で「男を知ってる、知ら
ない。おだんながいる、いない」と
女性を評価するこの人が、かつて副
総理の地位におられたとは。

日本の人口の半分は女性です。こ
のような女性観の持ち主は、即刻、
政界を引退されるのが、日本の将来
への最大の貢献になるかと存じます。
しかし、これは元副総理おひとり

の見方ではなく、広く自民党全体を
おおう対女性感覚であろうと推測し
ます。国会、および地方議会での、
野党女性議員への野卑な野次や嘲笑。
まことに恥ずべき幼稚な旧制高校風
な反応であります。女性有権者の多
くが不快に思っているあの野次を止
めることも、「政界浄化」の一策か
と思われまふ。

ご高齢ゆえ、意識改革はなかなか
困難とは思いますが、今後も一國の
政治にかかわるご決意ならば、どう
ぞそれにふさわしい女性観を身につ
けて下さいますよう。

今回の発言を公の場で謝罪し、女
も男も個人として尊重される社会の
建設に励まれるよう、強く要望いた
します。

1989年4月13日

金丸 信様

行動する女たちの会